

肺がんについて知ろう！

肺がんについて簡単に質問形式でまとめてみました。

① 肺がんになる人はどのくらいいるのでしょうか？

2020年に全国で肺がんと診断された人数（がん罹患数予測）は約130,000人で桐生市の人口（約108,000人、令和3年1月現在）よりも多いです。そのうち女性は約43,000人（乳がん、大腸がんに次いで3番目に多い）、男性は約87,000人（前立腺がん、胃がん、大腸がんに次いで4番目に多い）です。一方、お亡くなりになる人数で見ますと男性では最も多く、女性では大腸がんの次に多い難治性のがんです。

② 肺がんの原因はなんですか？

そうです、「たばこ」です。たばこを吸わない人と比べ喫煙者は4倍以上も肺がんになりやすくなります。でもたばこを止めると年々肺がんになるリスクが低くなり約20年で非喫煙者と同程度になります。最近は加熱式たばこが増えてきておりますが、肺がんとの関連はまだ分かりません。ニコチンやその他の有害物質が含まれているため、日本呼吸器学会は健康に悪影響をもたらされる可能性があるとの見解を示しております。その他の原因として受動喫煙、大気汚染、アスベストなどが挙げられます。

③ 肺がんの治療はどのようなものがありますか？

肺がんの治療法は大きく分けて「手術」「薬物療法」「放射線治療」の3種類あります。病状に合わせこれらの治療法を単独もしくは組み合わせて行います。「薬物療法」は抗がん剤のほか、分子標的治療薬や免疫療法も加わり近年目覚ましい進歩をとげております。「放射線治療」は当院では高精度放射線治療装置を導入しており、より質の高い治療が可能です。「手術」は医療機器の性能改善もあり、より小さな創でより安全に行うことができるようになっております。ロボット手術は現時点では肺がんにおいて今までの手術と比較し優位性を示せておりませんが、いずれ標準治療となる日が来るかも知れません。

④ 肺がんの症状はどんなものがありますか？

肺がん特有の症状はありませんが、進行すると咳、血痰、だるさ、呼吸困難、胸痛などの症状が出ることがあります。

⑤ 肺がんにならないようにするにはどうしたらいいですか？

禁煙、バランスの良い食事、適度な運動習慣などが推奨されております。最近ではたばこを吸わない方でも「肺腺がん」というタイプの肺がんが増加傾向にあります。早期発見のために検診は毎年受けましょう。

【呼吸器外科診療部長 田嶋 公平】

